TEPRA

写真情報ラベルソフト TEPRA Exif Labeler
取扱説明書

本書は Mac OS 用写真情報ラベルソフト「TEPRA Exif Labeler」について説明しております。
その他の Mac OS 用、Windows 用、iOS 用のラベルソフトについては、当社ホームページ
（http://www.kingjim.co.jp/）をご覧ください。

KING JIM

はじめに

このたびは、「テプラ」をお買い上げいただき、ありがとうございます。

写真情報ラベルソフト「TEPRA Exif Labeler」をお使いいただく際は、本書をよくお読みになり、正しくお使いください。

ラベルソフトを本書とともに末永くご愛用いただきますよう、心からお願い申し上げます。

- 本製品の使用を原因とする損害・逸失利益などにつきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書は Mac OS 用写真情報ラベルソフト「TEPRA Exif Labeler」について書かれています。Mac OS 用「シンプルラベルソフト TEPRA SMA3」、Windows 用「PC ラベルソフト SPC10」、iOS 用アプリ「TEPRA LINK」については、当社ホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）をご覧ください。また、対応する「テプラ」本体の機能や操作およびテープカートリッジの使いかたについては、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 本書は、Mac OS X 10.10/10.9 のいずれかが Mac にセットアップされていること、またそれらの Mac を使用するうえでの基本的な用語や操作について、既に理解されていることを前提に書かれています。用語や基本操作などについての不明な点は、ご使用いただいている Mac や OS の説明書などをご覧ください。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書の作成には万全を期しておりますが、万一、ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

‼注意‼

- 「テプラ」で得られるラベルについて
  塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これらによって、生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。

「キングジム」、「KING JIM」、「テプラ」、「TEPRA」、「テプラ」PRO、P テープマークは
株式会社キングジムの商標または登録商標です。
「Windows」は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
「Mac」、「Mac OS」は Apple Inc. の商標です。
「EPSON」はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
「Exif」は、日本電子工業振興協会（JEIDA）と、カメラ映像機器工業会（CIPA）で規格化された日本語 ディジタルスチルカメラ用画像ファイルフォーマット規格です。

本書の使いかた

本書は次の表記で記述します。

メニュー、コマンド、ダイアログボックスについて

【 表 記 】	【 説 明 】
［ファイル］	メニュー名は［ ］で囲みます。
［ファイル］－［開く］	コマンド名はメニュー名のあとに［ ］で囲みます。 続けておこなう操作は［ ］－［ ］と表示します。
［キャンセル］	ボタン名は［ ］で囲みます。
［定型］	タブ名は［ ］で囲みます。
「用紙の置き方」	項目名は「 」で囲みます。

マウスの操作について

【 表 記 】	【 説 明 】
クリック	主ボタンを 1 回押す操作です。
ダブルクリック	主ボタンを続けて 2 回クリックする操作です。

その他

【 表 記 】	【 説 明 】
❶❷	操作手順を示しています。
< Shift >	Mac のキーボードのキーを示しています。
参照☞	関連する事項の参照ページを案内します。必要に応じて参照先をお読みください。
MEMO	知っておくと便利な補足情報を説明しています。
!! 注意 !!	その機能の制限や条件など注意していただきたいことを説明しています。

本文中で使用している画面は、Mac OS X 10.10 の画面を例に説明しています。
本書に掲載している画面例は開発中のものを使用しているため、実際の画面とは異なる場合があります。
また、お使いの Mac の環境により、表示される画面が異なる場合があります。

目次

● はじめに 2
● 本書の使いかた 3
● 目次 4
● Mac にインストールする 5
　動作環境 5
　アプリケーション、プリンタドライバをインストールする 6
　アプリケーション、プリンタドライバをアンインストールする 9
● Mac と「テプラ」本体を接続する 11
●「TEPRA Exif Labeler」の起動～終了 12
　起動する 12
　写真ファイルを開く 13
　対応画像形式 13
　「TEPRA Exif Labeler」を終了する 14
●「TEPRA Exif Labeler」の基本操作 15
　メインウインドウの見かた 15
　ラベルイメージの見かた 16
　撮影情報・題名を入力する 17
　印刷する 18
● ラベルに表示する写真情報（Exif）を選ぶ 20
　環境設定画面を開く 20
● 困ったときは 22
　写真ファイルを読み込めない 22
　読み込んだ写真情報（Exif）が表示されない 22
　撮影日時が実際の撮影日と異なる 22
　カメラのメーカ名が写真情報（Exif）の表示と異なる 22
　文字がラベルからはみ出す 22
　［ページ設定］画面、または［印刷］の画面で［プリンタ］をクリックしても、「テプラ」が一覧に表示されない 22
● アフターサービスについて ..... 巻末

Mac にインストールする

動作環境

インストールする前に、お使いの Mac が以下の条件に合っているかを確認してください。

インストールできる Mac の条件

対応 OS	Mac OS X 10.10/10.9 （各 OS の推奨環境以上でお使いください）
対応 Mac	Intel 64bit CPU を搭載した Mac （対応 OS が正常に動作する Mac）
ハードディスク占有容量	約 50MB
ディスプレイ	解像度 1024 × 720 ピクセル以上
インターフェイス	USB 接続 有線 LAN 接続（10BASE-T/100BASE-TX） 無線 LAN 接続（IEEE802.11b/g/n）

!! 注意 !!

- OS X 10.8 以前の OS は未対応です。
- 他の OS のエミュレート環境での動作は保証できません。
- 古いアプリケーションソフトやドライバはあらかじめアンインストールしてから、インストールしてください。
- 「TEPRA Exif Labeler」の対応機種は SR970、SR950、SR750、SR550、SR5900P、SR3900P、SR3700P です。
- WR1000 はプリンタドライバのみ対応しています。
  写真情報ラベルソフト「TEPRA Exif Labeler」からは印刷できません。
- パソコン接続専用機以外の機種は USB ケーブルが同梱されていません。別途ご購入ください。
- 「TEPRA Exif Labeler」は 18mm 幅のテープカートリッジのみに対応しています。「テプラ」PRO 本体にセットしているテープカートリッジの幅が異なっていると、正確な印刷結果が得られません。
- 印刷中にスクリーンセーバや省エネルギー機能などが開始されると、画面表示や印刷などのソフトウェア動作に問題が発生することがあります。このような場合はスクリーンセーバや省エネルギー機能の設定を解除してお使いください。
- 既に「シンプルラベルソフト TEPRA SMA3」をご利用の方は、ドライバをアンインストールしてから、再度最新のドライバをインストールしてください。
- 最新のバージョン情報は当社ホームページでご確認いただけます。
  http://www.kingjim.co.jp/

アプリケーション、プリンタドライバをインストールする

以下の 2 つのソフトを順にインストールします。

写真情報ラベルソフト「TEPRA Exif Labeler」	写真ファイルの写真情報（Exif）を読み取り「テプラ」PRO 本体で印刷するラベル編集ソフトです。
プリンタドライバ「TEPRA Driver」	Mac から「テプラ」本体で印刷するために必要なソフトです。

!! 注意 !!

プリンタドライバのインストールが終了するまで「テプラ」本体を Mac に接続しないでください。

- 本取扱説明書は、写真情報ラベルソフト「TEPRA Exif Labeler」、プリンタドライバのインストールや使いかたについて説明する内容になっており、OS X や Mac の操作については詳しく説明しておりません。また、OS X や Mac について、最低限の操作（マウス操作やファイルの扱いなど）を習得されていることを前提にしておりますので、必要な場合は OS X や Mac の説明書をお読みください。
- 当社が公開しているプログラムをご使用になったうえでの故障や不具合、データ損失などにつきましては責任を負いかねますのでご了承ください。
- インストールの際は、ウィルス対策ユーティリティなどのプログラムを終了してからおこなってください。
- インストールにはインストール可能な管理者権限のパスワードが必要です。

❶ Mac を起動する

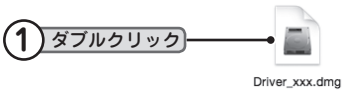
❷ Mac App Store から「TEPRA Exif Labeler」を検索してインストールする

「TEPRA Exif Labeler」のインストールはこれで完了です。
続いてプリンタドライバのインストールに進みます。

❸ **当社ホームページ（アドレス http://www.kingjim.co.jp/）からプリンタドライバのソフトウェアをダウンロードする**

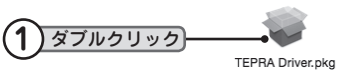
❹ **ダウンロードした［Driver_xxx.dmg］アイコンをダブルクリックして、ディスクイメージをマウントする**

起動しているソフトウェアがあれば終了してください。
ウィルス対策ユーティリティなどのプログラムも終了してください。

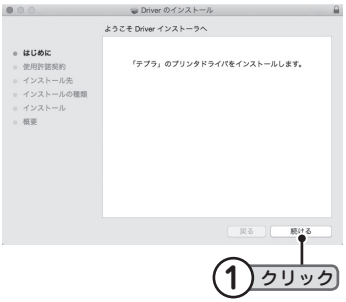


❺ **［TEPRA Driver.pkg］アイコンをダブルクリックする**

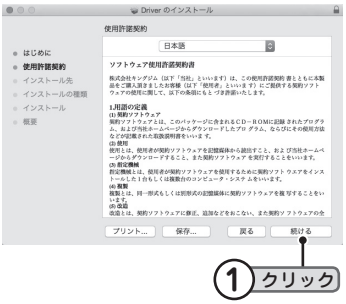
インストールプログラムが起動します。



❻ **開始画面で［続ける］をクリックする**

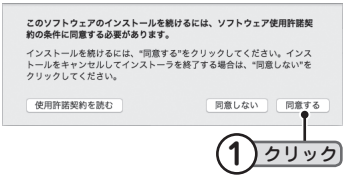


❼ **使用許諾契約の内容を確認して［続ける］をクリックする**



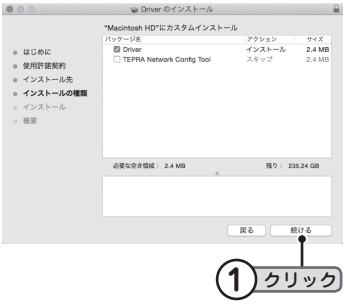
❽ **同意する場合は［同意する］をクリックする**

同意しない場合は［同意しない］をクリックしてください。インストールは中止されます。



⑨ インストールする機能をチェックして［続ける］をクリックする

「Driver」にチェックが付いていることを確認してください。
「TEPRA Network Config Tool」（ネットワーク設定確認ツール）は接続している「テプラ」本体のネットワーク設定を確認、変更できるユーティリティです（対象機種：SR5900P）。

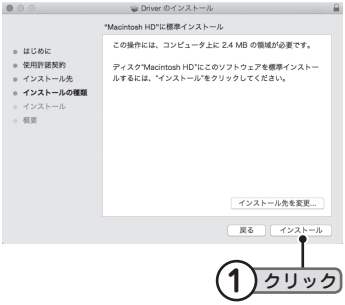


MEMO

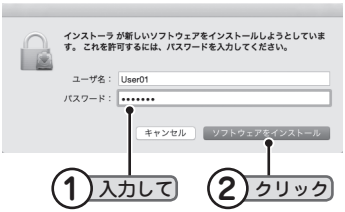
「ネットワーク設定確認ツール」は IP アドレスや無線 LAN のセキュリティなどを確認 / 変更する場合に選択してください。あとから追加でインストールすることもできます。

⑩ ［インストール］をクリックする

インストールが開始されます。インストール先を変更する場合には［インストール先を変更］をクリックして、インストールするディスクを選択してください。



⑪ インストール可能な管理者権限のパスワードを入力して［ソフトウェアをインストール］をクリックする



⑫ ［閉じる］をクリックする

プリンタドライバのインストールが終了すると完了を確認する画面が表示されます。

以降は、USB ケーブルで接続する手順について説明します。有線 LAN または無線 LAN で接続する手順については、「Mac OS 用セットアップガイド」を参照してください（対象機種：SR5900P）。

⓭ 「テプラ」本体を Mac に USB ケーブルで接続する
参照☞ P.11「Mac と「テプラ」本体を接続する」
「TEPRA Network Config Tool」をプリンタドライバとともにインストールした場合、自動的に「テプラ」本体のネットワーク設定プログラムが開始されます。
参照☞「Mac OS 用セットアップガイド」

‼注意‼

- アプリケーション、プリンタドライバのアンインストールは、インストール時に使用した［Driver_xxx.dmg］アイコンをダブルクリックして、ディスクイメージをマウントし、「TEPRADriver Uninstaller」で削除してください。
  参照☞ P.9「アプリケーション、プリンタドライバをアンインストールする」
- USB ハブ（キーボード含む）は使用しないでください。
- 1 台の Mac に同じ機種の「テプラ」本体を複数接続する場合は、事前にプリンタ名を変更してください。

アプリケーション、プリンタドライバをアンインストールする

‼注意‼

- アプリケーション、プリンタドライバのアンインストールは、必ず下記に記載の手順でおこなってください。
- プリンタドライバをアンインストールするときは、Mac と「テプラ」本体を接続している USB ケーブルをはずしてからおこなってください。
- 「TEPRA Driver Uninstaller」を実行するとプリンタドライバと同時に「TEPRA Network Config Tool」もアンインストールされます。

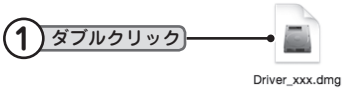
アプリケーションのアンインストール手順

❶ Mac を起動する
起動しているソフトウェアがあれば終了してください。
ウィルス対策ユーティリティなどのプログラムも終了してください。

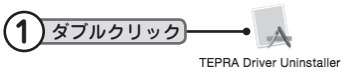
❷ 「TEPRA Exif Labeler」を Mac から削除する
通常のアプリケーションの削除と同様にファイルを削除する方法でおこなってください。

プリンタドライバおよびネットワーク設定確認ツールのアンインストール手順

❶ インストールの際に当社ホームページ（アドレス http://www.kingjim.co.jp/）からダウンロードした［Driver_xxx.dmg］アイコンをダブルクリックして、ディスクイメージをマウントする

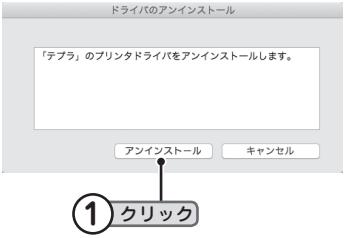


❷ ［TEPRA Driver Uninstaller］アイコンをダブルクリックする

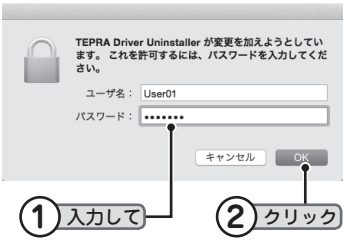


❸ [アンインストール] をクリックする

「テプラ」のプリンタドライバをアンインストールします。



❹ インストール可能な管理者権限のパスワードを入力して [OK] をクリックする



❺ [OK] をクリックする

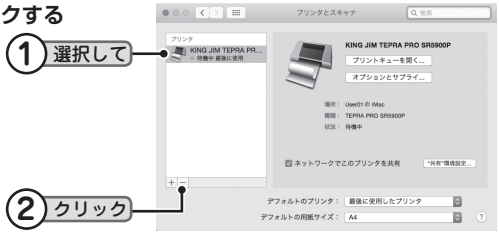
アンインストールが終了すると完了を確認する画面が表示されます。

続いてプリンタの削除に進みます。

❻ [システム環境設定] − [プリントとスキャナ] を開く

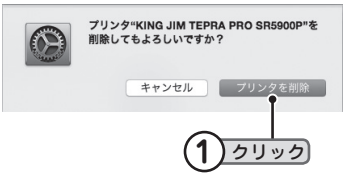
Apple メニューまたは Dock から開きます。

❼ 削除する機種を選択し、 − をクリックする



❽ 確認画面で [プリンタを削除] をクリックする

プリンタが削除されます。



Mac と「テプラ」本体を接続する

接続については、「テプラ」本体取扱説明書も合わせて参照してください。

❶「テプラ」本体に AC アダプタを接続する

❷「テプラ」本体に USB ケーブルを接続する
有線 LAN で接続する場合は、「テプラ」本体に LAN ケーブルを接続し、「テプラ」本体の電源を ON にします（対象機種：SR5900P）。
無線 LAN で接続する場合は、「テプラ」本体の電源を ON にしてから、無線機能を有効にします（対象機種：SR5900P）。

❸「テプラ」本体にテープカートリッジをセットする

❹「テプラ」本体の電源を ON にする
電源ボタンがなく Mac と USB ケーブルで接続することで電源が ON になる機種もあります。
テープカートリッジをセットした直後は、テープ送りを実行し、テープのたるみを取ります。

❺「テプラ」本体を PC リンク状態にする
「テプラ」本体に PC リンク状態へ切り替えるボタンがある場合は、ボタンを押して PC リンク状態にします。

❻ Mac のプリンター覧にプリンタを追加します。
USB ケーブルで接続した場合は、自動的に追加されます。
有線 LAN または無線 LAN で接続した場合は、［システム環境設定］－［プリントとスキャナ］でプリンタを追加します（対象機種：SR5900P）。

!! 注意 !!

- USB ハブを使用した場合の動作については、保証できません。
- 有線 LAN または無線 LAN で接続する手順とプリンタを追加する手順については、対象機種の「Mac OS 用セットアップガイド」を参照してください（対象機種：SR5900P）。
- 1 台の Mac に同じ機種の「テプラ」本体を複数接続する場合、接続する台数分のプリンタドライバが必要になります。2 台目以降のプリンタドライバは、別の「テプラ」本体を接続すると自動的にプリンタドライバのコピーが作成されます。このとき新たにインストールされたプリンタドライバの名前には「-2」のように数字が追加されます。

「TEPRA Exif Labeler」の起動～終了

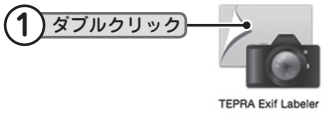
起動する

❶ Mac を起動する

❷ ドッグ内の［Launchpad］アイコンをクリックする

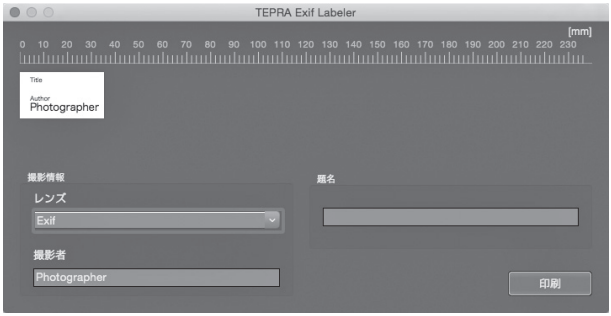
❸ ［TEPRA Exif Labeler］アイコンをダブルクリックする

「TEPRA Exif Labeler」が起動します。



MEMO

写真ファイルを［TEPRA Exif Labeler］アイコンにドラッグ＆ドロップすることでも、「TEPRA Exif Labeler」を起動させることができます。
参照☞ P.13「写真ファイルを開く」



写真ファイルを開く

メニューバーの［ファイル］から開く

メニューバーの［ファイル］-［開く］をクリックし、開きたい写真ファイルを 1 つ選択して［開く］をクリックすると写真ファイルを開くことができます。

写真ファイルをドラッグ＆ドロップして開く

以下の 2 つの方法があります。

- 写真ファイルをメインウインドウ上へドラッグ＆ドロップすると、写真ファイルを開くことができます。
- Finder で選択した写真ファイルを［TEPRA Exif Labeler］アイコン上にドラッグ＆ドロップすると、写真ファイルを開くことができます。

MEMO

- 写真ファイルを開くと、写真情報（Exif）が読み込まれメインウインドウのラベルイメージ上に表示されます。
- 印刷などのすべての作業が終了するまで、読み込み元の写真ファイルの移動、削除、更新は絶対にしないでください、また、写真の入っているメディア（メモリーカード、CD、DVD、MO など）を抜いたり、入れ替えたりしないでください。
- 1 度に複数の写真ファイルを開くことはできません。

対応画像形式

「TEPRA Exif Labeler」は以下の画像形式に対応しています。

① JPEG　：拡張子 jpeg,jpg
② TIFF　：拡張子 tiff,tif
③ Adobe Photoshop 形式　：拡張子 psd

MEMO

- Mac のメモリ容量によっては、画像サイズによって読み込めない場合があります。
- 画像編集アプリケーションソフトで編集した写真ファイルは「TEPRA Exif Labeler」では扱えない場合があります。

「TEPRA Exif Labeler」を終了する

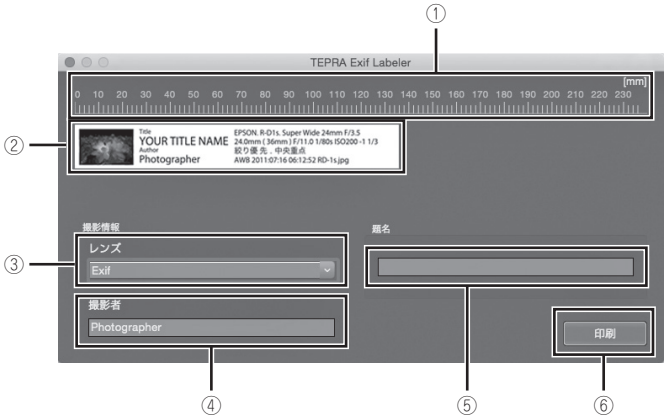
❶ [TEPRA Exif Labeler] メニューの [TEPRA Exif Labeler を終了] をクリックする

MEMO

- 「TEPRA Exif Labeler」は終了時に環境設定の設定項目、レンズのモデル名、撮影者名を環境設定ファイルに自動的に保存します。
- 「TEPRA Exif Labeler」内で入力したレンズのモデル名、撮影者名、題名は写真ファイルの写真情報（Exif）には記録されません。

「TEPRA Exif Labeler」の基本操作

メインウインドウの見かた



①ルーラ ： ラベル長さの目盛りです。

②ラベルイメージ画面 ： プリントするラベルのイメージを表示します。
ラベル長は撮影者名、題名、表示する写真情報（Exif）によって決まります。

③レンズ選択欄 ： レンズのモデル名を入力できます。入力文字数は最小 1 文字、最大 60 文字までです。
また、1 度使用したレンズのモデル名は登録され、ここから呼び出すことができます。
［Exif］を選択すると、写真ファイルの写真情報（Exif）内にあるレンズのモデル名を呼び出し、表示します。
参照☞ P.17「レンズのモデル名を入力する」

④撮影者名欄 ： 撮影者名を入力できます。入力文字数は最大 50 文字までです。

⑤題名入力欄 ： 題名を入力できます。入力文字数は最大 50 文字までです。

⑥［印刷］ボタン ： ラベルの印刷を開始します。

MEMO

ラベル長を短くするには、撮影者名や題名を短くするか、環境設定画面で表示する写真情報（Exif）の数を減らしてください。
参照☞ P.20「環境設定画面を開く」

ラベルイメージの見かた

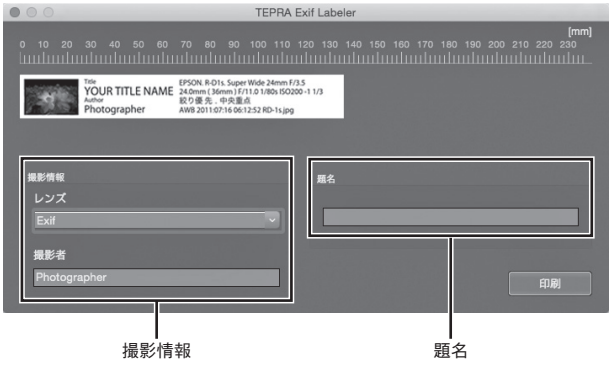
①サムネイル画像 ： 写真を縮小表示します。
②題名 ： 入力した題名を表示します。
③撮影者名 ： 入力した撮影者名を表示します。
④機材欄 ： 画像入力機器のメーカ名、モデル名、レンズのモデル名などを表示します。
⑤撮影情報欄 ： 焦点距離、露出情報などを表示します。
⑥露出モード欄 ： 露出プログラムや測光方法などを表示します。
⑦その他の項目欄 ： 撮影日時、ファイル名などを表示します。

MEMO

- ラベルイメージに表示される情報は、基本的には写真ファイルの写真情報（Exif）がそのまま表示されます。写真情報（Exif）の内容が未定義なもの、未記入のものは表示されません。
- ラベルイメージに表示される情報の種類は、環境設定画面で変更することが可能です。
参照☞ P.20「環境設定画面を開く」

撮影情報・題名を入力する

メインウインドウから撮影情報と題名を入力することができます。



レンズのモデル名を入力する

レンズのモデル名の入力には写真ファイルの写真情報（Exif）を利用する方法と、レンズのモデル名を直接入力する方法があります。

- **写真ファイルの写真情報（Exif）を利用する**
  レンズ選択で［Exif］を選択すると、写真ファイルの写真情報（Exif）内にあるレンズのモデル名を呼び出し、表示します。写真ファイルの写真情報（Exif）にレンズのモデル名が記入されていない場合や、メーカ独自の方法で記入されている場合は、レンズのモデル名が表示されないか、正しく表示されない場合があります。

- **レンズのモデル名を直接入力する**
  写真ファイルのレンズのモデル名が利用できない場合などでは、レンズ選択欄にレンズのモデル名を入力することができます。
  入力文字数は最小 1 文字、最大 60 文字までです。

レンズのモデル名を一覧から削除する

レンズのモデル名をレンズ選択欄から削除することができます。

❶ レンズ選択欄で削除するレンズのモデル名を選択する

❷ メニューバーの［編集］-［レンズの削除］をクリックする

撮影者名を入力する

撮影者欄に撮影者名を入力することができます。

題名を入力する

題名入力欄に題名を入力することができます。

MEMO

- 入力したレンズのモデル名は最大 18 種類まで自動的に登録され、選択して表示することができます。
- 撮影者名の入力文字数は、最大 50 文字までです。
- 題名の入力文字数は、最大 50 文字までです。
- 「TEPRA Exif Labeler」内で入力したレンズのモデル名、撮影者名、題名は写真ファイルの写真情報（Exif）には記録されません。

印刷する

❶ 「テプラ」PRO 本体に 18mm のテープカートリッジがセットされていることを確認する

MEMO

「TEPRA Exif Labeler」は 18mm 幅のテープカートリッジのみに対応しています。「テプラ」PRO 本体にセットしているテープカートリッジの幅が異なっていると、正確な印刷結果が得られません。

❷ 「テプラ」PRO 本体をパソコンリンク状態にする

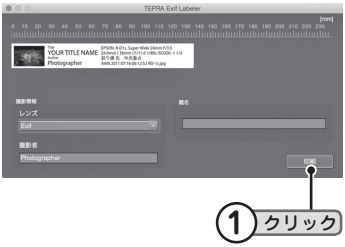
SR5900P は Mac と USB または有線 LAN で接続したあと、電源ボタンを押して印刷可能状態にしてください。無線 LAN で接続する場合は、「テプラ」PRO 本体の電源を ON にしてから、無線機能を有効にします。

SR970/SR3900P/SR3700P は、Mac と USB 接続することで印刷可能状態になります。

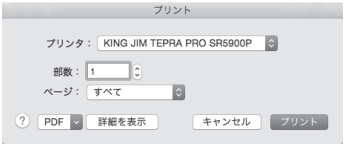
上記以外の「テプラ」PRO 本体の場合は［パソコンリンク］または［PC リンク］ボタンを操作します。

参照☞ P.11「Mac と「テプラ」本体を接続する」

❸ 印刷 ［印刷］をクリックする



❹ 印刷の設定画面の内容を確認する



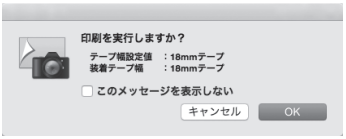
必要に応じて設定を変更します。

- **プリンタ**
  接続している「テプラ」PRO 本体名を選択します。
- **部数**
  同じラベルを複数印刷するときは、「部数」を選択します。

‼注意‼

「TEPRA Exif Labeler」は Mac に標準搭載されている印刷ダイアログを使用しています。そのため、プリンタ、部数以外の設定を変更すると正しく印刷されない場合があります。

❺ [プリント] をクリックする



テープ幅確認のメッセージが表示されます。

❻ テープ幅を確認する

テープ幅設定値：18mm テープと表示されます。
装着テープ幅：「テプラ」PRO 本体に装着されているテープカートリッジの幅が表示されます。

❼ [OK] をクリックする

印刷を開始します。

‼注意‼

- 「TEPRA Exif Labeler」は 18mm 幅のテープカートリッジのみに対応しています。「テプラ」PRO 本体にセットしているテープカートリッジの幅が異なっていると、正確な印刷結果が得られません。
- 「テプラ」PRO 本体での印刷中や、テープ送り時に AC アダプタ、USB ケーブル、LAN ケーブルをはずさないでください。印刷やテープ送りができなくなります。
- 長いラベルを印刷する場合、印刷開始までに時間がかかる場合があります。
- 印刷中にスクリーンセーバや省エネルギー機能などが開始されると、画面表示や印刷などのソフトウェア動作に問題が発生することがあります。このような場合はスクリーンセーバや省エネルギー機能の設定を解除してお使いください。

ラベルに表示する写真情報（Exif）を選ぶ

「TEPRA Exif Labeler」では、ラベルイメージに表示される情報は、環境設定画面で変更することが可能です。

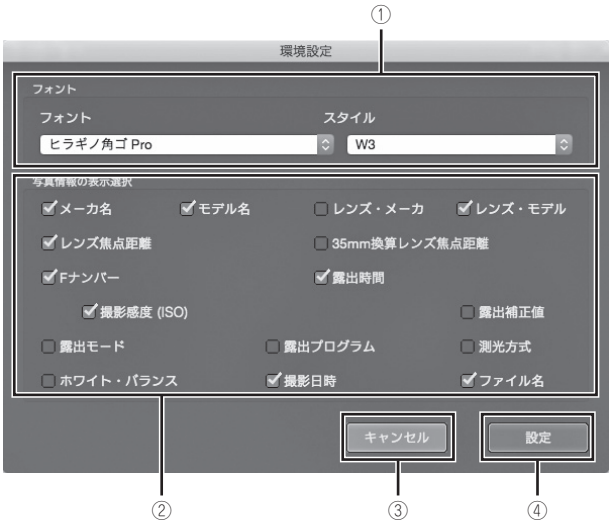
環境設定画面を開く

環境設定画面は、メニューバーの［TEPRA Exif Labeler］－［環境設定］をクリックすると開くことができます。

写真情報（Exif）の表示選択

各項目にチェックマークを付けることで、その写真情報（Exif）をラベル上に表示することができます。

環境設定項目一覧



①**フォント選択**
ラベルのフォントを選択できます。フォントによってはラベルから文字がはみ出ることがあります。

- **フォント**：フォントの一覧からフォントを選択できます。
- **スタイル**：斜体、ボールドなどのフォントのスタイルを選択できます。

②**写真情報（Exif）の表示選択**

写真ファイルの写真情報（Exif）の表示 / 非表示が選択できます。各項目の表記は、およそ Exif に準じています。

- **メーカ名** ： 画像入力機器（カメラ）のメーカ名。
  メーカ名によっては表示されないか、ブランド名で表示される場合があります。
- **モデル名** ： 画像入力機器（カメラ）のモデル名。
- **レンズ・メーカ** ： レンズのメーカ名です。
  メーカやモデルによっては写真ファイルにこの項目が無い場合があります。
- **レンズ・モデル** ： 写真ファイルにこの項目が無いか、メーカ独自の方法で記入されている場合は表示されません。
  この項目が選択されていないときは、レンズのモデル名を一覧から選択しても表示されません。
- **レンズ焦点距離** ： レンズの焦点距離です。mm で表示されます。
- **35mm 換算レンズ焦点距離** ： 35mm 換算レンズ焦点距離です。
- **F ナンバー** ： 絞りの F ナンバーです。Exif の“絞り値”ではありません。
- **露出時間** ： シャッター速度の露出時間です。
  Exif の“シャッタースピード”ではありません。
- **撮影感度 (ISO)** ： 撮影感度です。
  ISO スピードがある場合はそちらが優先されます。
- **露出補正値** ： 露出補正値が APEX 値で表示されます。
- **露出モード** ： 露出モードはオートブラケットによる撮影かどうかが表示されます。それ以外のモードは表示されません。
- **露出プログラム** ： 露出プログラムは、撮影時にカメラが使用した露出プログラムのモードが表示されます。
  未定義、マニュアル、ノーマルプログラム、絞り優先、シャッタ優先、クリエイティブプログラム、アクションプログラム、ポートレイトモード、ランドスケープモード
- **測光方式** ： 測光方式は、撮影時にカメラが使用した測光方式が表示されます。
  測光不明、平均測光、中央重点、スポット、マルチスポット、分割測光、部分測光、その他測光
- **ホワイト・バランス** ： 撮影時に設定されたホワイトバランスのモードが表示されます。
- **撮影日時** ： 写真ファイルの作成日時か、ディジタルデータ作成日時です。
  記入された形式のまま表示されます。
- **ファイル名** ： 読み込んだファイル名が表示されます。

③**[キャンセル] ボタン**

変更した内容をキャンセルし、環境設定画面を閉じます。

④**[設定] ボタン**

変更した設定内容をラベルイメージ画面に反映し、環境設定画面を閉じます。

MEMO

ラベルイメージに表示される情報は、基本的には写真ファイルの写真情報（Exif）がそのまま表示されます。写真情報（Exif）の内容が未定義なもの、未記入のものは表示されません。

困ったときは

写真ファイルを読み込めない

指定したファイルは「TEPRA Exif Labeler」が扱える画像形式ですか？

対応画像形式以外の写真ファイルでは本製品をご利用になれません。
参照☞P.13「対応画像形式」

読み込んだ写真情報（Exif）が表示されない

写真情報（Exif）内に目的の情報は存在していますか？

目的の情報が写真ファイルに記録されているか、情報の記録方式が Exif 形式であるか、ディジタルカメラの取扱説明書をご確認ください。
また、画像編集アプリケーションソフトを使って写真ファイルを書き換えた場合は、写真情報（Exif）が消えることがあります。

撮影日時が実際の撮影日と異なる

ディジタルカメラの日付設定や、写真ファイル内の日付情報が間違っていませんか？

「TEPRA Exif Labeler」では、撮影日時を写真情報（Exif）内の原画像データ生成日時から取得しています。原画像データの生成日時が取得できなかった場合はディジタルデータ作成日時を［撮影日時］と判断して、画面上に表示しています。
ディジタルカメラでの撮影後に画像編集アプリケーションソフトで編集した写真ファイルは、撮影日時が異なって表示される場合があります。

カメラのメーカ名が写真情報（Exif）の表示と異なる

ブランド名が表示されていませんか？

「TEPRA Exif Labeler」は、特定のメーカ名をブランド名に変えて表示しています。また特定のメーカ名はカメラのモデル名にメーカモデル名が含まれるのでメーカ名を表示しない場合があります。

文字がラベルからはみ出す

正しく表示されないフォントが選択されていませんか？

フォントによって文字がラベルからはみ出る場合があります。環境設定画面で別のフォントを選択してください。
参照☞P.20「環境設定画面を開く」

［ページ設定］画面、または［印刷］の画面で［プリンタ］をクリックしても、「テプラ」が一覧に表示されない

Mac のプリンター覧に使用したい「テプラ」本体が登録されていますか？

Mac の［システム環境設定］で、プリンタドライバがインストールされていない場合は、「テプラ」本体が［プリンタ］一覧に表示されません。プリンタドライバをインストールして、「テプラ」本体を登録してください。
参照☞P.6「アプリケーション、プリンタドライバをインストールする」

アフターサービスについて

■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げの販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

フリーダイヤル（全国共通）　　ナットクのパートナー
お客様相談室 0120-79-8107

FAX からの場合　　0120-79-8102
携帯電話からの場合　　0570-06-4759
※通話料お客様負担
受付時間：平日（月曜日～金曜日）　午前 9 時～午後 5 時 30 分

■最新情報については

「テプラ」に関する最新の情報は、当社のホームページをご覧ください。
ホームページアドレス　http://www.kingjim.co.jp/

「テプラ」写真情報ラベルソフト「TEPRA Exif Labeler」取扱説明書
（対象機種：SR970、SR950、SR750、SR550、SR5900P、SR3900P、SR3700P）
2015 年　4 月　第 1 版

2015-08-①